

雄武町 まち・ひと・しごと 総合戦略における K P I（重要業績評価指標）の仮設定

基本戦略① 雄武町の強みを活かした産業と雇用の場をつくる

【基本目標 K P I】	
KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
◆基幹産業の雇用創出による就業者数 ： 5年間で30人	農業法人8人、新規就農2人、農業6次化6人 水産加工業5人、ホタテ操業5人 新規起業2人、地域おこし協力隊2人 計30人を目標としたい。
【施策における K P I】	
KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
・新規就農者数：5年間で2人	今後、設立される農業法人において、新たな就農者が見込まれることと、離農予定者跡への新規就農者を誘致することから、5年間で2人を目標としたい。
・農業法人化数：5年間で3法人	農協から聴き取りを行った結果、5年間で3法人を目標としたい。
・コントラクター利用率 ：5年後に55%	農協から聴き取りを行った結果、5年後の利用率55%を目標としたい。
・農業生産額：5年後に60億円	協業法人化による規模拡大等で生乳生産量の増が見込めるので、現状の53億円（平成26年度）を5年後に60億円とする目標としたい。
・農業6次化に新たに取組んだ事業者数：5年間で3事業者	現在までの民間の動向を考慮し、5年間で3事業者を目標としたい。
・森林面積全体に占める森林認証取得率：5年後に86.5%	現在の認証率が86.1%であり、新たな取得を考慮し、5年後に86.5%を目標としたい。
・森林認証林の拡大：5年後に200㍍	民有林において、年間、200㍍の森林施業が行われており、これの1/5の取得を目標としたい。
・漁獲高：5年後に54億円	漁協が5年後に目指す数値目標を活用し、50億円を54億円に増加する目標としたい。
・ブランド化の取組事例数 ：5年間で2件	現在の、メジカ・雄宝に加え、コンブ・毛ガニのブランド化を目指すことを目標としたい。
・水産加工業従業員数 ：5年後に530人	漁獲高の増加等に伴い、従業員数525人を530人に雇用増を目指すことを目標としたい。
・新規漁業経営者数 ：5年間で1人（経営体）	漁業の衰退を招かないよう経営者の1名増加を目標としたい。
・ホテル日の出岬年間宿泊者数 ：5年後に13,000人	現状の宿泊数約10,000人から13,000人に増加することを目標としたい。
・日の出岬キャンプ場利用者数 ：5年間平均で1,500人	現状の利用者数約1,400人から1,500人に増加することを目標としたい。

基本戦略① 雄武町の強みを活かした産業と雇用の場をつくる

KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
・道の駅年間利用者数 ：5年後に14,200人	現状の利用者数約13,700人から14,200人に増加することを目標としたい。
・年間イベント来場者数 ：5年後に20,000人	現状の来場者数約17,800人から20,000人に増加することを目標としたい。
・製造品年間出荷額：5年後に150億円	現状の製品出荷額149億円から150億円に増加することを目標としたい。
・新製品開発事例数：5年間で2件	5年間で新たな製品開発事例数2件を目標としたい。
・ふるさと応援寄付金 ：5年後までに年間1億円	平成27年度の実績見込みが7,000万円弱であることから、まずは1億円突破を目指すことを指標としたい。
・新たな手法による創業支援件数 ：5年間で1件	空き店舗等を利用した創業を支援し、1件を目標としたい。
・新規起業数：5年間で1件	新たに1件起業することを目標としたい。
・女性の就業率（15歳～64歳） ：5年後に75%	平成26年の雄武町における女性の就業率（15歳～64歳）が73%であり、女性が活躍できる環境整備によって75%（4人中3人が就業）を目標としたい。
・福祉的就労の場の設置数 ：5年後までに1箇所	町内には高齢者及び障がい者の就労(活躍)の場が無いことから、関係団体(社協、民間企業、障がい者団体等)と協議を進め、当面は1箇所の設置を目指したい。
・若者の就業率（20歳～34歳） ：5年後に88%	平成26年の雄武町における若者の就業率（20歳～34歳）が85%であり、若者が活躍できる環境整備によって88%（3ポイント増）を目標としたい。

基本戦略② 雄武町らしさを活かして、人を呼び込み・呼び戻す

【基本目標KPI】

KPI（重要業績評価指標）	摘要（設定根拠など）
◆転入者数：5年後までに年間30人増	現状で年間約140人の転入者を30人増加し、170人を目標とする。
◆転出者数：5年後までに年間30人減	現状で年間約200人の転出者を30人抑制し、170人を目標とする。

【施策におけるKPI】

KPI（重要業績評価指標）	摘要（設定根拠など）
・紋別空港利用助成制度による来町人口 ：年後までに年間2,500人	平成26年度の実績が1,960人であり、ツアー客の拡大等により年間2,500人を目標としたい。
・お試し暮らし住宅利用人数 ：5年間で60人	平成22年度から26年度までの5か年利用人数が43人（年平均8.6人）であり、年間12人・5年で60人を目標としたい。
・住宅整備、移住宅地制度による移住者数 ：5年間で30人	勤労者住宅16人、移住促進住宅2人、サンライズビレッジ8人、移住宅地無償貸付・譲渡制度4人の計30人
・地域おこし協力隊受入れ人数 ：5年間で8人	平成28年度に2名任用予定であり、活動分野を拡充して、31年度までに2名ずつ、計8名の任用を目標としたい。

基本戦略③ 子どもを産み育てたいという希望をかなえる

【基本目標KPI】

KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
◆出生数：5年間で176人	5年後の特殊出生率1.8人を達成するために必要な概ねの人数（達成必要人数35.2人/年）として設定したい。 ※過去の出生数H22～31人/H23～36人/H24～33人/H25～32人/H26～33人
◆合計特殊出生率：5年後に1.8	人口ビジョンにおいて当町が目指す5年後の数値1.8を採用したい。
◆婚姻数：5年間で110件	戸籍窓口受理分の婚姻数22件（H24～26年度の3カ年平均値）を、人口減少下においても維持を図っていくため、22件×5年間＝110件を目標としたい。

【施策におけるKPI】

KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
・35歳～39歳における未婚率 ：5年後に男性30%、女性10%	平成22年国勢調査において、男性37.0%、女性12.3%の未婚率を改善させることを目標としたい。
・妊婦健診受診率：5年後に100%	基本目標KPI「出生数」や「出生率」を目指すための具体的施策（母子保健事業における妊婦健診受診券交付）の成果として受診率を用い、100%を目指すこととしたい。
・一般不妊治療費用の助成制度年間 利用人数：3人	平成28年度から不妊に悩む夫婦を対象とした一般不妊治療に係る費用助成の利用人数。相談窓口の設置により、そこを入口とした制度利用実人数3人を目標としたい。
・保育所待機児童：ゼロを継続	平成25年以降は待機児童ゼロを継続しており、子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後も継続していくこととしたい。
・3歳以上児の保育所・幼稚園の 利用率：5年後に98%	平成26年-93.6%、平成27年-94.7%と利用が伸びており、各種施策の実施効果により、5年後は98%を目指すこととしたい。
・放課後児童クラブ待機児童 ：ゼロを継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後も待機児童ゼロを継続していくこととしたい。
・養育困難家庭：ゼロを継続	不安や問題を抱える家庭を早期に把握し、その解消により養育に困難を抱える家庭の発生させないことで、子どもの安全確保に努めたい。
・児童・生徒の交通事故件数 ：5年間で0件	未来を担う子どもたちを、絶対的に交通事故から守ること目標としたい。

基本戦略④ 雄武町に住み続けたいと思える生活環境を整える

【基本目標KPI】

KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
◆国民健康保険病院常勤医師数 ：5年後までに3人	地域医療・介護包括ケアサービスの維持向上を図るため、3人を目標としたい。

【施策におけるKPI】

KPI（重要業績評価指標）	摘 要（設定根拠など）
・町内自治会加入率 ：90%以上の維持	町内自治会加入率の低下を招くことのないよう、加入率90%の維持を図りたい。
・地域ふれあいコンビニの設置数 ：5年後までに3箇所	沢木・幌内・魚田集落の既存施設を利活用し、3箇所の設置を目標としたい。なお、高齢者福祉、集落活性化等、政策間連携も期待できることから、当該施策区分において設定する。
・国民健康保険病院常勤医師数 ：5年後までに3人	地域医療・介護包括ケアサービスの維持向上を図るため、3人を目標としたい。
・乳幼児健診の受診率 ：5年後に100%	子どもの健やかな成長のためには、母子保健事業における乳幼児健診を適時適切に受診させる必要があることから受診率100%を目標としたい。
・介護保険1号被保険者のうち介護保険サービス未利用者の割合 ：5年後に86.5%以上	高齢者福祉計画における将来推計値（平成32年度）を引用し目標としたい（65歳以上人口推計1432人、介護保険サービス利用者推計195人、利用者推計13.62%、未利用者86.38%⇨86.5%）。
・日常の買い物に不便を感じている集落の解消：5年後までに3集落	沢木・幌内・魚田集落の買い物環境の利便性向上を目指すことを目標としたい。
・学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合 ：小学生85%以上・中学生80%以上	平成27年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて設定したい。
・学校の授業以外に普段、1日当たり1時間以上勉強している児童生徒の割合 ：小学生87%以上・中学生90%以上	平成27年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて設定したい。
・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ：小学生85%以上・中学生70%以上	平成27年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて設定したい。
・学習会受講者の満足度：80%以上	今後、生涯学習関係講座や行事等の参加者にアンケートを実施し、満足度80%以上を目標として設定したい。
・民間バスの路線数及び便数 ：北紋バス 1路線 4.9便を維持 宗谷バス 1路線 4.4便を維持	総合計画において2路線の維持を指標としているが、総合戦略においては、1日あたり運行便数（年間平均）も含め、利便性の低下を招かぬよう設定したい。
・自主防災組織数 ：5年後までに15団体	特に海沿いの自治会を中心として、15団体が組織するよう働きかけていくこととしたい。
・消防団員数：110人を維持	消防組合における条例に基づく人数であり、この人数を維持していくことを目標としたい。
・犯罪発生年間件数：各年10件未満	犯罪のない安心して暮らせるまちづくりのため、10件未満を維持する目標としたい。